

湘南日独協会主催 06 前期 ドイツ語講座のご案内

ドイツ語をまた始めるチャンスです！

4月から06前期のドイツ語講座が始まります。

●ドイツ語初級コース【全20回】

講師 松野義明 先生

テキスト Themen Neu I

●ドイツ会話・中級コース【全20回】

講師 Radke Rebekka先生(ドイツ人女性)

テキスト Themen Neu II

●ドイツ会話・上級コース【全20回】

講師 Radke Rebekka先生

テキスト Zwei Kriminalstorys とテキスト

●ドイツ語・原書講読コース【全20回】

講師 松野義明 先生

テキスト Thomas Mann: Mario und der Zauberer

※日程は都合により変更となる場合があります。

会場 藤沢カトリック教会202号室

受講料 ドイツ語会話 中級・上級 6ヶ月(20回)

40,000円(湘南日独協会会員)

45,000円(一般参加)

ドイツ語 初級・原書講読 6ヶ月(20回)

35,000円(湘南日独協会会員)

40,000円(一般参加)

※テキスト代は別途となります。

定員 各クラス8名

【各クラスの時間割】

コース	時間	教室
ドイツ語初級コース	土 15:00～16:30	202
ドイツ語会話 中級コース	土 10:30～12:30	202
ドイツ語会話 上級コース	土 13:00～15:00	202
ドイツ語 原書講読コース	土 16:30～18:00	202

湘南日独協会2006年度活動予定

■ 3月25日(土)13:30～16:30

第44回例会・年次総会

映画会*音楽劇映画

「モーツァルト青春への旅路」

会場 湘南アカデミアサロン

■ 4月22日(土)18:00～ 会員懇話会

卓話 「月沈原」が読めますか…

岩本 哲 氏(会員)

会場 湘南アカデミアサロン

会費 500円 懇親会は別席で各自自弁。

■ 5月27日(土)13:30～16:30

第45回例会 講演会

演題 “Sport und Freizeit in der Gesellschaft in Deutschland”

Schwerpunkt: Asiatische Kampfsportarten

講師 STEEN Dieter

(7-DAN JUDO & 4-DAN JUJUTSU)

■ 7月29日(土) 18:00～20:00

第46回例会 ビア・イベント

湘南の名物 ドイツフェア

出演 エーデルワイスカペレ(予定)

合唱団「アムゼル」(予定)

会場 藤沢市民会館第一展示集会ホール

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 8. NO. 2. 通巻44. 発行 2006. 3. 25.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0025 藤沢市鵠沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

ワイマール市民訪問団

鎌倉に菩提樹を植樹

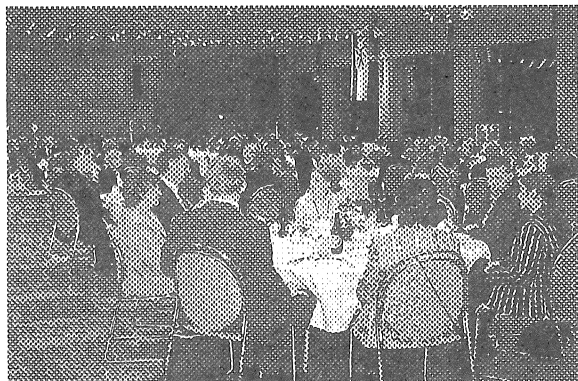


菩提樹の植樹セレモニー

2月24日(金)は朝から冷たい雨に降られましたが午後2時30分に鎌倉中央公園にワイマール市民訪問団138名が集合、鎌倉市長、湘南日独協会協会会長が出迎え、ワイマール市から贈られた菩提樹の植樹が行われました。ワイマールのゲルマー市長は「訪問団に参加した皆さんは日本文化に興味を持つばかりです。皆さんのご親切にこの菩提樹を贈ります」と挨拶しました。写真は左から織田湘南日独協会会長、ローマンワイマール独日協会会長、ゲルマーワイマール市長、石渡鎌倉市長、鎌倉市議会議長・副議長の皆さん。

晩餐会で語り合った日独の文化

会員 寺田雄介



盛大に開催された晩餐会

2月24日午後8時、七里ガ浜の鎌倉プリンスホテルで始まったワイマール市主催晩餐会。会場に足を踏み入れた僕は、予想以上に華やかで大規模なパーティであるのに驚いた。ホール正面に掲げられた日本とドイツの国旗。会場を埋め尽くす背が高くがっしりした体型の方が多い138名のワイマールからのゲスト。まだ風の冷たい古都鎌倉の一角に、ドイツ語の飛び交う熱気にあふれた空間が生まれていた。スクリーンに流れるワイマールの映像。中でも印象的だったのは秋に行われる陽気な収穫祭「たまねぎ祭り」の様子だ。会場にも冠をかぶった「たまねぎ女王」が登場し、鎌倉の市長さんにプレゼントを渡すなどのセレモニーをしていた。その様子をゆっくりと丁寧なドイツ語で説明してくれたのが、右隣のワイマールの建築士さん。一見、大学教授のような威厳のある方で、ゲーテやシラーの話になると身を乗り出すのだが、日本文化の話になったとき、ふと「一度、Grüner Teeを飲んでみたいんだよね」と子供っぽい表情でいったのが可笑しかった。てっきり緑茶のことだと思って「ボーイさんに頼めばすぐ持ってきてくれますよ」と答えたが、あとになって、緑茶ではなく抹茶のことだと気づいた。なぜなら、彼のかばんの中にはちゃんと「お〜い、お茶」のペットボトルが入っていたから。鎌倉にはおいしい和菓子と抹茶を出す店がたくさんあるのに、うまく紹介

できなかった自分が恥ずかしい。同じテーブルの向かいには僕より3つ年下のスキー好きの男の子。彼に。れば、ワイマールで初めて食べた日本料理は『ぐるぐる回っているスシ』、日本映画はクロサワではなくてキタノ、日本文学といえばキャプテン翼、だという。こちらは同年代の日本人と変わらない感性だ。「ところでドイツの映画を知っていますか？」と聞かれ、大学の授業で扱った映画「ベルリン・天使の詩」「ラン・ローラ・ラン」「トンネル」「バンディッツ」「グッバイ、レーニン」等をあげたら、今度はドイツ映画の話ですっかり盛り上がった。ゲーテからキタノまで話しは尽きず、気がついたらデザートも終わり。なにしろワイマールの人たちは自分たちの街の歴史や文化をこよなく愛しているので、そのことが話題になると本当に楽しそうに話す。僕が鎌倉や藤沢についてこんなに熱く語れるかといえば、残念ながら自信はない。他国を理解し他国の人と心から交流するには、まず自国を愛し自国のことを学ばねばならない。そのことを強く感じた、有意義な一夜であった。最後になりますが、若輩者の自分にこのような貴重な体験をさせてくださった湘南日独協会の皆様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ドイツ・ワイマール市民訪問団 鎌倉訪問記念行事によせて

会員 荘林麻美子

プログラム前半は琴、尺八、舞踊による日本芸能の紹介、そして合唱団アムゼルによりドイツと日本の歌が両国語で歌われた。後半はワイマール市民訪問団のメンバーでもあるピアニスト、アンネ・フォルガーさんの素晴らしいコンサートがあり、両プログラムの間には来訪団全員との歓談の一時が設けられた。「野ばら」や「菩提樹」など日本でも親しみの深いドイツの歌の大合唱が始まったのは大変印象的であり、その瞬間はその時を共有できる喜びで満たされたように思う。



鎌倉駅前に集合して鎌倉芸術館へ(2月25日)

その時私のそばにいた方が、ゲルマー市長はとても歌がお好きでお上手なんですよ、と大変親しみを込めて話してくださり、引き続きこの方と色々とお話をしているうちに、ワイマール市長と市民の皆さんの距離の近さを実感した。そのゲルマー市長のスピーチにもあったが、「遠く離れた国で故郷の歌がドイツ語で合唱されたことに感銘を受けた」という声を多く聞いた。また、琴や尺八についての質問もあった。歓談の内容はそれぞれであっただろうが、初対面、あるいは念願の再会であったり、状況も様々に違いないが、相手の国への尊敬や興味が両者の距離を近づけると改めて感じた。こうして直接会って顔を見て話をする事で得るものの大切さ、どんなに短い時間でも経験を共有できる嬉しさを味わえる一時であったと思う。ある方から「まだ3日目だけれど、またぜひ日本に来たいと思っている」とお聞きしたときには大変嬉しかった。そして、小さなこと一つ一つに感動して下さることに私自身が感動した。これだけ大勢の方が鎌倉訪問団に参加されたこと、参加の仕方でも夫婦、親子、親子3代もあり、等々大変驚いた。皆さん一人一人がいわば親善大使。どのような印象を持って帰られ、どのようにこの旅行話を友人、知人になさるのだろうか。

最後に、このような機会を提供して下さった主催者の方々に心より御礼申し上げます。